

## 阿弥陀寺

阿弥陀寺は紫陽花で有名です。6月下旬から7月半ばにかけ、紫陽花が寺に続く道の両側を彩ります。この華やいだ通りに行くには、箱根登山鉄道を塔ノ沢駅で降りて、だんだん急になる石の階段を山腹に向かいます。少し行くと、道に沿って小さな仏像が並んでいるのが見えてきます。ぶらぶら歩いてもお寺の門まで20分もかからないでしょう。今日では簡単に行けますが、1604年に僧侶弾誓（1552～1613年）がここにたどり着き、近くの洞穴で瞑想するために住みつけた時には、本当に人里離れた場所でした。彼は翌年その場所に仏教の浄土宗の寺を建立し、阿弥陀仏の名を冠しました。弾誓の洞穴は現在の寺の建物群の後ろの狭い階段を15分ほど登った所にあります。もう一つ阿弥陀寺で見るべきものは、将軍徳川家茂（1846～1866年）の妻であった皇女和宮（1846～1877年）に捧げられた小さなお堂です。彼女は京都の宮廷と江戸（現在の東京）の幕府の関係を強化するために結婚させられました。和宮の悲劇的な人生は31歳で幕を閉じます。彼女は塔ノ沢の温泉地に滞在中、脚気で亡くなりました。